

腰椎・骨盤帯に対する MUSCLE ENERGY

神経生理学的背景からケーススタディまで



熊本：2018年4月21・22日

北海道：2018年5月19・20日

東京：2018年7月21・22日

開催日	<ul style="list-style-type: none">● 九州会場：九州中央リハビリテーション学院 平成30年4月21日 14:00～18:00 (13:30 受付開始) 平成30年4月22日 9:00～15:00● 北海道会場：北海道医療大学 平成30年5月19日 14:00～18:00 (13:30 受付開始) 平成30年5月20日 9:00～15:00● 東京会場：(株)インターリハ 平成30年7月21日 14:00～18:00 (13:30 受付開始) 平成30年7月22日 9:00～15:00
講師	荒木秀明（日本臨床徒手医学協会代表理事）
内容 (講義)	<ul style="list-style-type: none">● Sherrington の三原則● 等尺性収縮後弛緩(PIR)と相反抑制(RI)の生理学的背景● Fryette の法則 腰椎機能障害の鑑別方法(FRS と ERS)
内容 (実技)	<ul style="list-style-type: none">● 骨盤帯変位に対する muscle energy● 腰椎機能障害に対する muscle energy● ケーススタディ：産後骨盤帯痛・高齢者後側弯・急性腰痛など● Home exercise
定員	<ul style="list-style-type: none">● 40名程度
受講料	iMMSJ 認定セラピスト：20,000 円 iMMSJ 会員：30,000 円 会員外：40,000 円

その他	筆記用具持参、動きやすい服装（ジーパン、スカート不可）
申し込み方法	ホームページ（info_immsj@yahoo.co.jp）から必要事項を記載の上、お申込み下さい

【腰椎・骨盤帯に対する Muscle energy】

神経生理学的背景からケーススタディまで

講師：荒木秀明（日本臨床徒手医学協会代表）

- 日本臨床徒手医学協会テクニカルコース第4弾は「腰椎・骨盤帯に対する muscle energy の実際」。

マッスルエナジー、PIR、相反抑制。書籍やSNS等で頻繁に目にする機会が多いと思います。当協会ではマッスルエナジーの根本である神経生理学の基礎については Sherrington の三原則、生体力学的背景を Fryette の法則から理論をお伝えします。実技は講師の豊富な臨床経験を背景に、実際の症例のケーススタディを提示しながら、手技を急性期、亜急性期、慢性期と病期に応じた手技の実際をお伝えします。

- 「産後の骨盤帯痛」を改善させたい
- 「ヘルニア急性期の安静時痛」を改善させたい
- 「高齢者の腰椎後側弯」を改善させたい
- 「自宅でできるマッスルエナジー」を知りたい

講義内容

- Sherrington の三原則
- Fryette の法則
- Muscle energy の生理学的背景神経の基礎解剖と neuro-dynamics 理論
- 骨盤帯変位に対する muscle energy
- 腰椎機能障害に対する muscle energy
- 脊柱と骨盤帯に対する PIR と RI
- Home exercise

他団体では決して聞くことのできない臨床に即したマッスルエナジーです！徒手医学の勉強歴のない方でも理解しやすい内容になっています。

